

平成 28 年度実績に係る部局評価書

部局名： 高等司法研究科

【評価区分1】 部局年度計画に係る 自己評価に対する評価	【評価区分2】 「全学的に重視する指標」に おける年度毎の状況評価】	【総合評価】 評価区分1及び評価区分2 に基づく評価
A	A	A

【評価区分1:部局年度計画に係る自己評価に対する項目別評価】

項目	評定	コメント(評定に至った理由)
【教育】	A	平成 28 年度計画に対して、取組状況が良好であることが認められる。 評価は A であるものの、学習支援体制の強化を図るため、管理者提供コンテンツとして法律文書錬成講座の出題趣旨等を提供し、従前の約 3 倍となるアクセス数 100 件を超えたこと、また、再チャレンジ勉強会においては、科目選択型グループの構想を変更し、法律文書錬成講座(添削付き)を新設し、最大 74 名の学生が参加するなどの成果を上げていることは評価できる。 一方で、男女協働推進に関しては、当初計画していた講演会セミナーの開催がなされなかったため、一層の推進が求められる。
【研究】	A	平成 28 年度計画に対して、取組状況が良好であることが認められる。
【社会貢献】	A	平成 28 年度計画に対して、取組状況が良好であることが認められる。
【グローバル化】	A	平成 28 年度計画に対して、取組状況が良好であることが認められる。
【業務運営】	A	平成 28 年度計画に対して、取組状況が良好であることが認められる。